

事業名 CD	0102010201	広聴広報事業
細分化した事業名		広報事業
事業担当課室 CD	100300	企画財政課
		整理コード*

〈事務事業の位置づけ〉

第5次長期総合計画での目的体系	大項目	人が集う交流のあるまちづくり
	中項目	市民と行政の協働によるまちづくり
	小項目	開かれた行政の推進
関連する個別計画等		根拠条例等
関連する事業		

〈事務事業の概要〉

事業の目的 (何のためにするのか)	ガイドブックやインターネット、有線放送などの情報媒体を活用し、市政情報の発信につとめる。
事業の対象 (誰・何を対象にするか)	市民全般
これまでの改善経過	市政レポート(市長所信表明)・市政ダイジェストの製本廃止 H11 市ホームページの開設 H13 各種情報ページの追加 H18 市ホームページリニューアル H20 電算サーバーの入れ替えを機に、業者委託による市ホームページの再リニューアル
事業の手段 (どんなやり方(手法)で)	〈実施・運営方法〉 ■市 ■委託 ○補助金 ○その他() ・市民ガイドブック～市庁舎案内や市政情報の紹介冊子を、転入者に配布。 ・有線放送(声の広報)～有線加入者に対し、毎日(朝・夕)の放送時(開始時・終了時)に市からの行事情報等を提供。 ・市ホームページ～インターネット閲覧者への情報発信。 ・まちづくり懇談会～市内各種団体との市長対話。 ・市勢要覧～市制施行55周年記念事業。市内全世帯へ配布。
事業の成果 (どのような状態にしたいのか、どのような効果を得るのか)	市政情報を広く市民に周知することにより、開かれた行政運営と市民生活の充実を図る。

〈投入費用及び従事職員の推移〉

		19年度	20年度	21年度	
A	事業費 (千円)	630	6,678	3,001	
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	市債				
	その他				
	一般財源	630	6,678	3,001	
B	担当職員数(非常勤 職員 E) (人)	0.30	0.30	0.44	
C	人件費(平均人件費 × E) (千円)	2,070	2,073	3,002	
D	総事業費(A+C) (千円)	2,700	8,751	6,003	
*参考		H21)市民1人当りの事業コスト	187 円	H21)市民1人当りの行政サービス費用	579,596 円

注1)担当職員数には、1年間に当該事業に携わった職員数(職員と非常勤嘱託職員を区分)を他事業と按分して記載してあります。
 注2)平均人件費は各年度決算額(職員給与費)から算出した、19年度(6,901千円)、20年度(6,909千円)、21年度(6,823千円)を使用しています。
 注3)一般財源とは用途の制限のない財源で、市税(市民税・固定資産税など)、地方交付税(市町村均衡を図るための交付金)などを言います。

〈事業を数字で分析〉 この欄では、事業の目指すべき方向を分りやすく示すため、数値指標を設定し実績数値を記入しています

	指標名	指標の算出方法	実績値		
			19年度	20年度	21年度
活動指標	市民ガイドブック発行部数	(部)	1,000	800	800
	市勢要覧発行部数	(部)	—	—	13,000
成果指標	有線放送加入世帯数	年度未加入世帯数(世帯)	2,771	2,751	2,575
	市ホームページアクセス件数	アクセスカウンター	150,038	231,164	263,190
	市民ガイドブック配布部数	転入世帯数	815	780	763
	市勢要覧配布部数				11,204
効率指標	まちづくり懇談会開催件数			1	3
	市勢要覧1部当たりの作成費用(円)	印刷製本費 / 発行部数 2,363(千円) / 13,000部			182

〈事業を自己評価〉

妥当性 (事業の手段・活動は妥当ですか)	<input type="checkbox"/> A 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> B ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C 妥当でない ・市民ガイドブック～市町村により異なる制度内容や手続方法を周知する上で、不可欠である。 ・有線放送～農家等、特定の市民に限られるが、インターネット等の利用率が低い年齢層には、有効的な情報媒体である。 ・市ホームページ～アクセス数は年々上昇傾向にあり、広報誌と並んで、中心的な情報媒体として活用の幅が期待できる。		
成果 (意図した成果が上がっていますか)	<input checked="" type="checkbox"/> A 上がっている <input type="checkbox"/> B ほぼ上がっている <input type="checkbox"/> C 上がっていない ・市ホームページ～H20の再リニューアル後、さらにアクセス数が上昇、担当ごとの定期的かつ細部に亘る更新の成果といえる。 ・まちづくり懇談会～テーマごとの市長との直接対話の実現、市民との協働による行政運営の一助として有効的である。		
効率性 (コストを見て効率的ですか)	<input type="checkbox"/> A 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> B ほぼ効率的である <input type="checkbox"/> C 効率的でない ・市民ガイドブック～カラー印刷機での作成により、コスト削減に努めている。 ・市ホームページ～1担当につき2名(リーダー職含む)の担当者を設置することで、定期的かつ細部に亘る更新を可能にした。		
総合評価	<input type="checkbox"/> A 期待以上に達成 <input checked="" type="checkbox"/> B 期待どおりに達成 <input type="checkbox"/> C 期待以下の達成		
今後の事業展開	<input type="checkbox"/> 重点化(コストを集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 手段の改善(実施主体や実施の手段を代える) <input type="checkbox"/> 効率化(結果単位あたりのコストを下げる) <input type="checkbox"/> 簡素化(事業の規模や内容を縮小する) <input type="checkbox"/> 統廃合(他の事業と統合する、または廃止する) <input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり		
改善・改革案	改善・改革の概要・方向性(いつまでに、どういう形で具体化するのか)		
	(1) 中長期的 ・市ホームページのコンテンツ(情報)の充実 ・見やすく、わかりやすい情報検索体系の構築 ・定期的かつ細部にわたる更新の徹底	(2) 23年度 リニューアル後の市ホームページの運用等、市政情報の効果的な活用を検討する	(3) 22年度 リニューアル後の市ホームページの運用等、市政情報の効果的な活用を検討する
	21年度の改善計画 リニューアル後の市ホームページの運用等、市政情報の効果的な活用を検討する		
21年度の改善結果 迅速な情報提供、わかりやすい検索体系の構築につとめ、定期的かつ細部にわたる更新をおこなった。			
市民(地域)や民間、他官庁との役割分担(市民との協働の視点などから考えられること)			
課長所見	市政情報を広報するにあたり、様々な媒体を活用することで、より多くの市民に周知できるよう、引き続きより効果的な事業の運用を検討していく必要がある。		